事例No.	1765
公表年度	R4
団体の属性	複数団体
団体名	青森県、弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・公共施設の集約化等 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

汚水処理施設共同整備事業（MICS）

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【青森県津軽広域連合】
汚水処理施設共同整備事業（MICS）

広域化等　下水道事業

青森県津軽広域連合

● 取組の概要

下水道及びし尿等処理施設の更新費用及び維持管理費の経費を削減するため、岩木川流域下水道の施設を共同利用できる施設整備を汚水処理施設共同整備事業（MICS）により進めた。

◆総事業費　建設費1,600,000千円、 維持管理費170,000千円

◆背景

- し尿及び浄化槽汚泥等の処理について弘前地区環境整備事務組合（弘前市他5市町村）及び黒石地区清掃施設組合（黒石市他4市町村）の2施設で行われていたが、両組合施設の老朽化が著しく、改築更新に多額の費用を要することから、今後の施設整備及び維持管理の方向性について懸案となっていた。
- 岩木川流域下水道の構成市町村と重なる両施設のし尿及び浄化槽汚泥等の処理について、流域下水道施設で処理した方が経費削減となることから、平成20年7月より検討を始めた。

◆具体的内容

- 今まで2施設で処理していたし尿及び浄化槽等汚泥を1施設に集約した。
- 汚泥は岩木川流域下水道施設を利用して処理するため、し尿希釈投入施設の整備及び処理施設を増設した。

◆効果

- 施設の集約により、建設費・維持管理費が軽減された。
  （建設費▲約3,700,000千円、維持管理費▲約300,000千円）
- 建設費・維持管理費の軽減により、関係市町村財政負担の軽減が見込まれる。

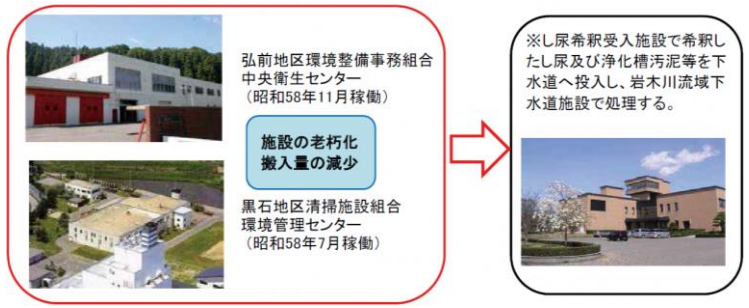
● 取組のポイント

- 周辺住民の代表や有識者による運営協議会を設置し、意見交換する場を設けた。
- 自主的に生活環境影響調査をおこなった。
- 周辺住民から臭気対策を万全にするよう要望があり、生物脱臭と活性炭を組み合わせた高度な脱臭設備を導入した。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　271,206人　（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　1598.23km^2（令和4年1月1日時点）
- 処理区域内人口　272,331人　（令和3年度決算）

集約イメージ



● 取組のスケジュール

- 平成20年7月よりMICS事業の検討を開始。
- 平成27年10月より供用開始。

● 今後の展望

- 下水道接続率の向上に伴い、し尿等が減少することから連合単独の維持管理コストの削減や、し尿希釈受入施設の長寿命化等に関して検討する必要がある。